

# 令和2年度の主な防災・減災に関する取組について

## ◆取組の概要

### ○避難所開設・運営訓練

令和2年10月・11月に豊能町内の指定避難所において指定避難所の開設・運営訓練を4回実施。指定避難所は、町職員だけでなく、自主防災組織等の地域の方々の多大なご協力が必要不可欠になってくる。そこで、地域住民と町職員が共同で訓練し、大災害時における円滑な避難所運営に備える必要があるとともに、訓練で得た教訓事項を避難所マニュアルの修正に活用。また、新型コロナウイルスが流行している現状もあり、特に感染症対策を踏まえた手指消毒、ソーシャルディスタンス、事前受付、検温、総合受付などを実施し、体育館内で簡易テントや簡易ベッド等を組み立て・設営、感染症対策消耗品の紹介、質疑応答を行い、地域住民の方と町職員で情報共有を図った。今後も規模等を拡充し訓練を継続する予定。



### ○ため池ハザードマップの作成・配布

令和3年3月に吉川地区山ノ神上池・山ノ神下池のため池ハザードマップを作成をして、自治会住民に配布するとともに、町ホームページに掲載し、水防災に関する情報を住民に周知。



### ○要支援者等の避難個別計画の推進等

令和2年12月に東ときわ台自治会の呼びかけにより、要支援者等の個別避難行動の検討会（東ときわ台自治会、町職員、民生委員等）を予定していたが、新型コロナウイルス感染まん延の影響を受け延期（今後の予定は未定）。また、大規模な地震などが発生した場合、町や関係機関の対応行動に併せた自主防・地区住民の対応行動をスケジュール化するマニュアルを作成中である。（地震発生時のタイムスケジュール）